

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

熊本市立桜山中学校（熊本県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 デジタル教材を活用した個別と一斉指導の充実

デジタル教材を用いて、授業で生徒の学習状況を瞬時に把握し、個別指導と一斉指導の充実を図ることができた。

◆生徒の学習状況の把握



教師は生徒が取り組んでいる問題の学習履歴の画面を見て、一人ひとりの学習状況を把握した。

正答や誤答の情報だけでなく、学習状況に応じて、「困っているかもしれません」や「解答をよく読んでいません」の表示に着目し、個人がどのような状況なのか、より詳しく把握することができた。

◆個別指導の工夫



個人の解答状況では、解答にかかった時間と解説を読んだ時間を参照することで、状況にあった指導をすることができた。

生徒Aの状況では、誤答の原因に、短い時間で解答し、解説を見ずに済ませていると判断できるので、「落ち着いて取り組むように」と声かけをした。

生徒Bの誤答は、時間をかけて解答しているが、解説を見ずに済ませており、解き方を理解していないと判断できるので「隣の人と解き方を相談するように」と生徒どうしの教え合いを取り入れた。

◆一斉指導の改善



配信した問題の正答率を見て、課題がある問題は次の授業で全員で解き方を確認したり、後日再配信したりして、繰り返し取り組むことができた。

◆成果と課題

単元終了時に行った確認問題の結果では、知識・理解を問う問題の正答率がいずれも8割程度あり、生徒が教材を使って、自立的に学習に取り組んだ成果が見られた。

生徒が教材を用いて、主体的に学習を進められるように、学習過程をより工夫する必要があると考える。